

# 生活支援コーディネーター (SC) の1日

令和7年  
7月号

北部地域包括支援センター生活支援コーディネーター 田浦

高齢の方が自宅で、できるだけ自分らしく、長く住み続けられるために、地域の取り組み、支え合い活動を、SCも一緒に応援



西栄田町の自治会長より

「初めての試みとなる  
“西栄田町独自の1人暮らしの集い”  
を開催しようと思う。」



令和6年10月 会長と副会長、北部包括で情報交換したときのこと・・・

自治会長

声掛け巡回を始めて今年で5回目になる。私たちが訪問して声掛けすることも大事だが、少し思考を変えてみて、町独自の1人暮らしの集いを開催しようと思う。1人暮らし高齢者には、家から一歩外に出て、公民館に来てもらって、地域の人と食事をしながら話せる場を作りたい。包括支援センターにも参加してもらいたい。包括を身近に感じてもらえるように。」

SC

「初めての町独自の1人暮らしの集い開催ということで、1人暮らしの方が、この西栄田町で、安心して暮らしていけるよう、包括も協力していきます。」

SC

令和6年11月 西栄田町語らん場開催

自治会、老人会、いきいきサロンでの取り組みや今後、取り組みたいことを、各代表からご紹介してもらい、町の強みを共有しました。



西栄田の人は、親切、思いやりがある。声をかければ手伝ってくれる人もいる。西栄田町って良い町ね～。

その後も、公民館に寄っては、度々、自治会長始め、自治会役員の方々と情報交換しました。

SCの  
気持ち

住民の“やりたい”を実現できるように、これまでの取り組みや集い開催への思い、西栄田をどういう地域にしていきたいかなどを聞いてみよう。そのためにも、コミュニケーションをとる機会をできるだけ作ろう。その上で、SCにできそうな支援がどんなことかを考えていきたい。

自治会長、自治会の役員、SCで情報交換

高齢、介護が必要になっても、できるだけ自宅で過ごしたい。どういう町、地域になると、暮らしていけるだろう？

認知症状のある方が増えてくるだろう。できるだけ住みよい地域にしたい。

西栄田も核家族化で1人暮らしや高齢世帯も増えている。声掛け巡回は続けたい。

近所で馴染みの関係があるからこそ、気楽に話せる。困った時には相談できる関係を作っておきたいよね。

集いの開催まで、包括も話し合いの場に交じって、準備していきました。

自治会

令和7年6月 西栄田町独自の1人暮らしの集いが開催



主催者の住民さんの意向をくんで、北部地域包括支援センターの認知症地域支援推進員が、認知症予防講話、体操などを披露しました。同じ町に住む人との交流を通して、顔の見える関係づくり、住みよい町へとまた、一歩近づけたのではないかなと思います。